

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習Ⅱ Medical Coding II		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(医療事務技能審査試験対策)	メディカルークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求実務演習Ⅰ・ICDコーディングⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子	非常勤講師室	火・金の9時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習Ⅰの学習を確認するとともに、 ①外来及び入院レセプト作成 ②支払基金・国保連合会への請求実務を中心に学習する。				
授業の目標				
請求実務のスキルアップを目指し、 ①DPC・電子カルテに必要な知識が身につくようにする。 ②診療科ごとに対応できるように算定全般を理解し、レセプトが点検できるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に様々な診療科の事例を検討しながら、正しいレセプト点検を行うことができるようにする。				
学習の成果 (学習成果)				
①診療報酬点数表を読みこなすことができる。 ②医療保険制度について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来と入院料について (ガイダンス) ①			
第2回目	外来と入院料について (ガイダンス) ②			
第3回目	入院料 ① (初診料)			
第4回目	入院料 ② (緊急入院算定と記載)			
第5回目	入院料 ③ (医学管理等)			
第6回目	入院料 ④ (投薬)			
第7回目	入院料 ⑤ (注射)			
第8回目	入院料 ⑥ (処置)			
第9回目	入院料 ⑦ (手術)			
第10回目	入院料 ⑧ (検査)			
第11回目	入院料 ⑨ (画像診断)			
第12回目	入院料 ⑩ (リハビリ・その他)		(小テスト I)	

第13回目	食事療養費	
第14回目	演習問題 I	
第15回目	演習問題 II	
第16回目	演習問題 III	
第17回目	演習問題 IV	(小テスト II)
第18回目	医療事務技能検定対策 ① (呼吸器内科)	
第19回目	医療事務技能検定対策 ② (循環器内科)	
第20回目	医療事務技能検定対策 ③ (整形外科)	
第21回目	医療事務技能検定対策 ④ (外科・癌)	
第22回目	医療事務技能検定対策 ⑤ (外科・骨折)	
第23回目	医療事務技能検定対策 ⑥ (皮膚科)	
第24回目	医療事務技能検定対策 ⑦ (外来一般)	(小テスト III)
第25回目	医療事務技能検定対策 ⑧ (小児科・入院)	
第26回目	医療事務技能検定対策 ⑨ (高齢者・入院)	
第27回目	医療事務技能検定対策 ⑩ (公費・生活保護)	
第28回目	医療事務技能検定対策 ⑪ (公費・介護保険法)	
第29回目	医療事務技能検定対策 ⑫ (労働者災害補償保険法)	
第30回目	医療事務技能検定対策 ⑬ (入院総括)	
事前・事後学習	出された課題については必ず次回までに終わらせておく。不明な点については質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	基礎知識を理解し、授業に積極的に取り組んでいる。出された課題を準備して授業に臨んでいる。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
医療事務医科テキスト1～4 (ニチイ学館) 医療事務医科スタディブック1 (ニチイ学館) 医療事務医科ハンドブック (ニチイ学館) 診療点数早見表 (医学通信社)		
履修上の留意点・ルール		
請求実務演習 I を履修していること。メディカルマークを受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。		